

玉燈

～タイトル「玉燈」によせて～

「玉」は立派なものに磨きあげる、「燈」は教え、照らすを表し、「子どもへの愛育」と「情熱に満ち溢れる教師道」をイメージしています。また、「玉燈」は、郷土の先人 國友一貫斎の代表的発明品としても知られています。

子どもたちに 郷土愛を育むために

長浜市教育委員会事務局
次長 山岡 万裕

急激な少子化による人口減少は全国的な社会問題で、長浜市においては、特に、高校卒業後に市外への転出者数は、大学等の卒業後の転入者数を大きく上回っていることから、若者の定住やUターン促進が重要な課題となっています。

そんな中、私が住んでいる高月町東阿閉自治会は、市内で年少人口が増えている上位の自治会と聞き驚いています。実際には、ここ10年（H23～R3）で、年少人口（14歳以下）が増加した市内15番目の自治会で、新興住宅地がない自治会での増加数は第1位、ここ10年間で年少人口は21人増えて69人とのことです。市の人口が急速に減少している中で、98世帯の小さな自治会が、これだけ増えているのは驚異的だそうです。

確かに、毎朝、集団登校している小学生の列も長く、にぎやかに通っていますし、若い夫婦も新居を建て、増えているような気がします。

私なりに理由を考えてみますと、小さな頃から自治会行事に参加し、世代を超えた交流があることや、東阿閉はご存じのとおり、ヤンマー初代社長の生誕地で、ヤンマー会館という他の地域にはないシンボリックな建物があり、子どもの頃から地域の自慢となっている。また、農村集落であることから、若者が新居を建てる土地があるなどが、地元で若者が帰ってきて、年少人口が増えている理由ではないかと思います。（けっして自慢ではありませんが。）

そこで、少子化対策として若者の定住やUターンの促進に向けて、教育委員会としては、長浜子育て憲章の5つ目の「長浜に誇りを持ち、地域に貢献する子どもを育てます」の取り組みが大切だと思います。子どもたちが「長浜に誇りをもつ」ためには、現在、各学校で進められているように「地域の人との関わりや郷土の歴史・伝統文化を伝えることで郷土愛を育む」ことが、今後ますます重要となってくると考えています。

長浜市は、他の地域にない素晴らしい「歴史文化」を持っています。子どもたちが生まれ育った長浜に誇りを持つために、いかにして長浜の魅力を伝えるかは、やはり、教師の指導力にかかっていますし、そのためには、まず、教師の皆さんにしっかりと長浜の歴史文化を認識していただくことが大切なのではないでしょうか。

(次のページへ)

長浜子育て憲章

- 一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- 一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 一、長浜に誇りを持ち、地域に貢献する子どもを育てます

そこで、突然ですが、今回この紙面上を利用させていただき、長浜の歴史文化に関する問題を10問作ってみました。問題が正解か？不正解か？の○×方式の簡単な問題ですので、ぜひ、最後まで取り組んでみてください。特に社会科がご専門の教師の皆さんは満点を目指してみてください。(ひっかけもあります。)

	問 題	○	×
1	長浜は、羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)が最初に城持ち大名となった場所で、何度もNHK大河ドラマの舞台となり、今まで4回の大河博覧会を開催している。市では、長浜市石田町出身の「石田三成」の大河ドラマ化を目指し誘致を進めている。		
2	下坂中町(六荘地域)にある「下坂氏館跡」は、戦国時代に浅井氏に仕えた地侍(村落領主)の屋敷跡で、当時の遺構が良好に残る全国でも珍しい史跡である。		
3	江戸時代に対馬藩に仕え、朝鮮との交流に尽力した高月町雨森出身の「雨森芳洲」は、現在長浜市が採用している小・中学校両方の教科書に肖像画入りで紹介されている。		
4	「菅浦文書」は、西浅井町菅浦に伝わる区有文書で、中世村落「惣村」の組織や様子がわかる貴重な資料として国宝に指定されている。また、中学社会の教科書に記載されている教科書もある。ただし、長浜市採択の教科書には載っていない。		
5	長浜には、国連のユネスコが提唱する3大遺産(世界遺産・無形文化遺産・世界の記憶)の内、長浜曳山祭りが無形文化遺産として、雨森芳洲が世界の記憶として、世界が認めた2分野の遺産を有している。		
6	明治時代になり、国は急いで近代化を進めたが、長浜～敦賀間の鉄道開通(全国でも早い段階)、滋賀県で最初の国立銀行(第二十一国立銀行)の設立や小学校(第一小学校)の開設など、当時、長浜は経済・教育面で県の先進地であり、大いに栄えていた。		
7	竹生島は「(神の)斎く島」をその名の由来とし、古来より信仰を集め、国宝2件、重要文化財4件の寺社建築が所在している。特に国宝の唐門や都久夫須麻神社本殿は、豊臣期の大阪城より移築したもので、日本の桃山建築を代表するものである。		
8	国友村(町)の科学技術者「國友一貫斎」は、日本で最初に反射望遠鏡を製作し、天体観測を行うなど、日本の天文学者のさきがけの一人である。また、気砲(空気銃)や玉燈(本誌タイトル)、懐中筆(筆ペン)などを次々と考案し、「江戸時代のエジソン」「江戸のダヴィンチ」と呼ばれている。また、一貫斎は、飛行機の製作まで検討していた。		
9	浅井長政とお市(信長の妹)との間に生まれた浅井三姉妹は、現代でいうならセレブ中のセレブ。中でもお江は、徳川二代将軍「秀忠」に嫁ぎ、三代将軍「家光」の母となった。また、お江の五女は天皇家に嫁ぎ、天皇の祖母となった。		
10	高月町渡岸寺の「国宝十一面観音立像」を作家「井上靖」は、その芸術的な素晴らしさに、「東洋のビーナス」と評した。また、彼は、パリのルーブル美術館で、ミロのビーナスとの同時展示を検討し、村へ打診もされていたと伝わっている。		

問題は、いかがでしたでしょうか。実は、問題に取り組んでもらうことで長浜の魅力を知るきっかけとなるような問題を作ってみました。したがって、正解は全て○です。(ひっかけがないというのがひっかけでした。)

今回、子どもたちが地域に誇りを持ち、郷土愛を育むためには、まずは、教師の皆さんに、長浜の魅力である「歴史文化」をしっかりと知っていただくことが大切ではないかと、このような文章を書かせていただいたわけですが、最後の「オチ」として、以前、私は歴史遺産課に勤務しており、新型コロナが流行る前には、夏休み期間中の教職員研修として、教育センターと一緒に取り組んでいた長浜の歴史文化を知っていただく研修会を実施したものです。是非とも研修会の復活と皆さんの参加をお願いして終わらせていただきます。

教育研修会を実施します

研究・研修室より

つながりあい、学びあい、豊かに生きる

子どもを育むための指導力向上を目指して



教職員免許更新制が廃止され、個々に「学び続けること」が求められています。また、新たに教員研修記録作成の義務化も始まりました。長浜市教育センターでは、学びの場としてこの夏季に集中して**20講座**の教員研修会を開設します。お一人一研修以上のご受講をお願いいたします。

- 授業改善研修① ～令和の日本型教育とは～
- 授業改善研修② ～資質・能力を育む授業づくりと学習評価～
- 学びの実験室 小学校理科講座① ■ 学びの実験室 // ②
- ESD 研修 ■ 園小接続期に活かせる運動あそび講座
- 「確かな学力」の育成に向けた「個別最適な学び」の充実（算数科）
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり

- モラロジー道德教育研究会
- 学校における自殺予防教育
～こころの問題を抱えた子どもへの関わり方～
- エンパワメント
～自分も他者も大切にす関係づくり～
- 「絵本の魅力」講座
- 長浜市人権教育研究発表大会
- 長浜市道德研修発表大会

- 特別活動を軸とした
学校・学級の再生
- 子どもたちの「プレゼン
力」を高めるには

- 特別支援学級のための実践ワ
ークショップ
- 特別支援教育研修～学級づくり
の真髄とは～
- 特別な支援を必要とする子の進
路についての学習会

- ICT 教育推進教師養成講座 ①
- // ②
- ICT 活用研修

2024年2月7日(水) 長浜市教育研究発表大会

講師:工藤 勇一 氏 (学校法人堀井学園 横浜創英中学・高等学校校長)

(教育再生実行会議委員、経済産業省「EdTech」委員、
文部科学省「教育長・校長プラットフォーム」発起人)

千代田区麹町中学校の校長として、6年間、公立校としては異例の教育改革を行い、注目を集めた工藤勇一氏。子どもたちが「自分で考えて行動できる大人」になるために、多くの実践をされてきました。今回は浅井文化ホールでの集合開催です。

ぜひ、生で工藤先生の熱い講演をお聞きください。



令和5年度 長浜市教育研究奨励事業募集について

多くの先生方が、授業改善、不登校児童・生徒の対応、特別支援をはじめ学校現場で直面している課題に日々熱心に取り組んでおられます。そうした実践をぜひ、教育論文という形でアウトプットしていただくための事業です。研究論文を書くことで、自ら課題を発見し、見直すことができるだけでなく、実践的な指導力が向上します。昨年度は26編の応募があり、先生方の教育に対する熱い思いを感じました。年齢・キャリアに関わらず、今年度もぜひ多数応募をお待ちしております。



令和5年度 長浜市教育研究

教育センターでは、本年度も保育・教育活動の充実にむけて研究を実施します。

概要①

思考力、判断力、表現力等を育成する算数科の授業づくりに関する研究(2年次)
～数学的な表現(言葉・式・図・表・グラフなど)を用いた数学的活動の工夫と充実～

ChatGPT に代表される生成 AI が台頭し、生き方や働き方などが急激に変化する時代にあって、子どもたちには、その様々な変化に積極的に向き合い、「思考力、判断力、表現力等」を働かせて他者と協働して課題を解決していく力が求められています。

研究2年次となる今年度は、ICT を効果的に活用しながら、児童が思考し判断し表現し続けられるように展開が工夫された授業づくり、自分の考えを表現し伝え合う活動が充実した授業づくりによって、子どもたちの「思考力、判断力、表現力等」を伸ばしていくことを目指します。

年間研究アドバイザー 滋賀文教短期大学准教授
松宮孝明先生

研究協力員の先生方 長浜小学校 城市泰勢先生
南郷里小学校 藤田真哉先生



6月23日(金)委嘱状伝達式

概要②

園小接続カリキュラム実践研究(1年次)
～園小教員のつながりを深め、子どもの豊かな学びを未来につなぐ～

2017年の要領・指針*1改定にともない「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示され、学校種等を越えた連携・接続の手がかりとしてその活用が始まっています。幼保小の先生方は、交流事業を通してつながりと相互理解を深めてこられました。

本研究では、園小教員のつながりや相互理解をさらに深め、それぞれの立場から子どもの育ちや学びについて意見を出し合い、接続期(架け橋期)のカリキュラムを作成し、保幼小が保育・授業の質を向上させ、円滑にかつ持続的・発展的に子どもの育ちをつないでいくことで、子どもの学びをより豊かにしていくことを目指します。

*1 要領・指針とは、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を指す



年間研究アドバイザー 福井大学連合教職大学院教授 岸野 麻衣先生

協力員の先生方 北郷里小学校 伊吹 里美先生 南 麻衣先生
北郷里幼稚園 鬼頭 孝子先生
さくらんぼ保育園 河下 晏子先生

5月15日(月)委嘱状伝達式

特別支援



を意識してみましよう

～誰もが使いやすい～

教育相談室 発達支援グループより

子どもたちの困り感解消のために、教室内支援など、個への配慮が求められています。担任の先生にとってできる限り負担の少ない形で学習の場づくりができるといいですね。そこで、特別な配慮を必要とする子どもそうでない子にも見やすい、分かりやすい教材づくりのポイントをデザインの視点から考えてみました。

学習用プリントやロイロノートのカードとして、下のようなワークシートがあった場合、みなさんはどれを見やすいと感じますか？

上の言葉と下の言葉を、正しくつなぎましよう。

同じ読み方の漢字

名前

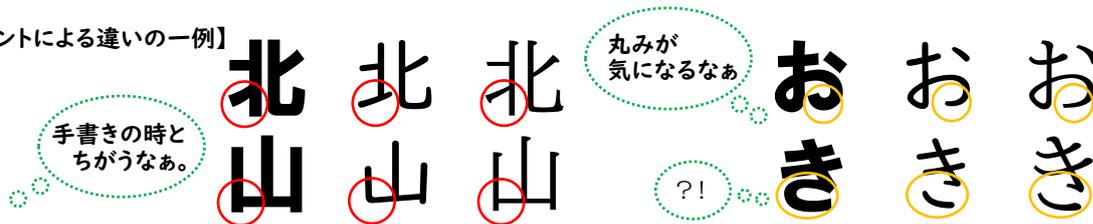
*五年生国語の学習より

ゴシック系のフォントは、インパクト大。視覚的な刺激が強い。文字間が近いと、見難さを感じる人も。

UDデジタル教科書体。シンプルで読みやすい。紙面でもデジタルでも視認性が高い。

明朝系のフォントは、紙面では美しく読みやすい。デジタル化すると横線の細さが見難いことも。

【フォントによる違いの一例】



- 文字の大きさはどのくらいがいいかな
- 文字の色は何がいいかな
- イラストや絵はあった方がいいかな
- フォントはどれがいいかな
- 背景色とのコントラストはどうだろう
- 紙面と大型モニターでは見え方が違うかな

など、ユニバーサルデザインを意識して考えてみてはいかがでしょうか。
 今回挙げたフォントの評価はごく一般的なものであり、人によって感じ方は違います。評価を鵜呑みにせず、目の前の子どもたちに「今日のカードは見やすかった？」などと聞いてみてヒントにされるのも良いかもしれませんね。

